

Cisco VG248 Analog Phone Gateway

概要

Cisco VG248 Analog Phone Gateway は、Cisco Architecture for Voice, Video and Integrated Data (AVVID) によって実現された混合環境ソリューションです。Cisco VG248 Analog Phone Gateway により、企業は従来型のアナログ デバイスをサポートしながら、IP テレフォニーの利用によって得られる新たな機会を活用できます。Cisco VG248 は、Cisco CallManager をベースにした企業音声システム内でアナログ電話、ファックス機、モデム、音声メールシステム、およびスピーカーホンを使用するための高密度ゲートウェイです。これらのデバイスを他の IP ベースの電話システムに統合した場合、管理性、拡張性、およびコスト パフォーマンスが向上するという利点があります (図 2 参照)。

Cisco VG248 は、Cisco CallManager システムへの拡張として使用されるフル機能のアナログ電話回線 48 本を、きわめてコンパクトな 19 インチ ラックマウントシャーシで提供します。

図 1 : Cisco VG248 Analog Phone Gateway



主な機能と利点

アナログ電話— インフラストラクチャ (回線) またはアプリケーションが IP Phone をサポートしないか、または必要としない場合、フル機能のアナログ電話接続が必要になります。フル機能のアナログ電話回線が提供されることにより、企業にとっては、すべての社内ユーザーに IP Phone を購入する必要なく、IP テレフォニーを展開することが可能になります。

ファックスおよびモデム— 業務上、ファックス機やモデムとの接続が必須のオフィスは数多くあります。Cisco VG248 は、これらの機器への回線を提供するために理想的なデバイスです。ファックス機やモデムとの接続性が提供されることにより、これらの従来型装置と IP 電話を並行してサポートすることが可能になります。

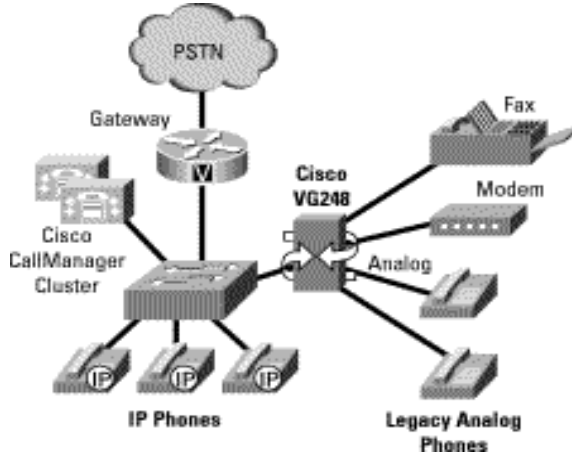
音声メール— 多くの従来型音声メールシステムでは、アナログ接続および Simple Messaging Desktop Interface (SMDI) 接続が必要とされます。音声メールサポートは、Cisco CallManager による従来型音声メールシステムのサポートにより、従来に比べさらに多様な構成で、かつより高い信頼性を持って実現することが可能になります。

投資保護— お客様は、既存の電話、ファックス機、および音声メールシステムを継続して使用しつつ、IP テレフォニーを有効活用することができます。



導入に伴う障害を軽減—ローエンドのアナログ電話に低価格の選択肢が提供され、より低い総投資額で IP テレフォニーという新しいテクノロジーを活用することが可能になります。

図 2 : Cisco VG248 によるアナログ装置の統合



アナログ電話接続

Cisco VG248 は、アナログ電話が必要な環境にとってとても理想的なデバイスと言えます。なぜなら、以下のよう高度な機能をサポートしているからです。

- 発信者識別情報 (Caller ID) — Cisco VG248 は発信者識別情報 (名前と番号の両方) をサポートするため、ユーザは電話に出る前に発信者を知ることができます。(ナンバーディスプレイ対応電話機では対応していません)
- メッセージ ウェイティング ライト— Cisco VG248 は、アナログ ライトをアクティブにする方法を 2 通りサポートします。すなわち、高 DC 電圧 (メッセージ ウェイティング インジケータ ライト) と Frequency Shift Key (FSK) メッセージングによる方法だけでなく、視覚的インジケータを持たない電話用のスタッタードダイヤルトーン (stuttered dial tone) もサポートします。これらの方式は、それぞれ Private Branch Exchange (PBX; 構内交換機) およびセントラル オフィスで使用されます。
- コール ウェイティング— コール中に新たなコールを着信すると、トーン音が聞こえ、ユーザは新たなコールに切り替えることができます。
- コール ウェイティング時の発信者識別情報— ユーザは新たなコールに切り替えるかどうかを決める前に発信者を知ることができます。
- 転送— 標準のベルコアフラッシュフック (Bellcore flash hook) 方式を使用し、ブラインド転送と監視転送の両方をサポートします。
- 会議— フラッシュフックまたは機能アクセスコードを使用して、電話会議をアナログ電話から開始できます。電話会議を開始すると、Cisco CallManager によって各デバイスがメディアリソースに割り当てられます。最大 6 人が参加できます。



- 機能アクセスコード—機能アクセスコードを使用して、他にもさまざまな高度な機能をアクティブにできます。
- 短縮ダイヤル—通常よく使用する番号を Cisco CallManager Web インターフェイスにて設定し、設定した番号をアナログ電話から直接ダイヤルできます。
- 全コール転送—ダイヤルプラン内に設定した特定の番号にコールを転送できます。
- リダイヤル—Cisco VG248 に接続されたアナログ電話から、最後に掛けた番号にリダイヤルすることができます。
- Cisco IP SoftPhone のサポート—Cisco IP SoftPhone の機能がアナログ電話でサポートされます。

FAX およびモデム接続

- Cisco VG248 は従来型のファックス機やモデムをサポートします。ファックス機を使用する場合、Cisco VG248 は Cisco FAX リレー テクノロジーを用いて、高い信頼性で、かつ、音声コールより少ない帯域幅を使用し、ネットワークを介してファックスを転送します。Cisco VG248 に接続可能なモデムのタイプに制限はありません。

音声メール接続

Cisco VG248 は、接続された最大 48 本のアナログ回線のいずれに着信したコールに対しても、SMDI 形式でコール情報を生成します。また、他の Cisco VG248 または従来型 PBX からの SMDI を、音声メールシステムに転送します。メッセージ ウェイティング ランプに関する任意のコマンドが、Cisco CallManager および接続された他の SMDI ホストに送信されます。

このメカニズムにより、SMDI ベースの音声メールシステムを使用する際に、次のようなさまざまな新しい構成が可能になります。

- 単一の音声メールシステムを Cisco CallManager と従来型 PBX で共有する (図 3 参照)。
- 中央集中型コール処理モデルにより、音声メールと Cisco VG248 をリモートで機能させる。
- 各クラスタに Cisco VG248 を 1 台ずつ使用することにより、単一の音声メールシステムを複数のクラスタで使用する。
- 複数の音声メールシステムを単一のクラスタで使用する (SMDI が Cisco CallManager ではなく Cisco VG248 によって生成されているため)。
- Cisco CallManager のフェールオーバー機能を使用した SMDI リンクの信頼性。
- Cisco VG248 をリンクすることによる拡張性 (図 4 参照)。



図 3 : SMDI を使用した従来型音声メールと従来型 PBX の統合

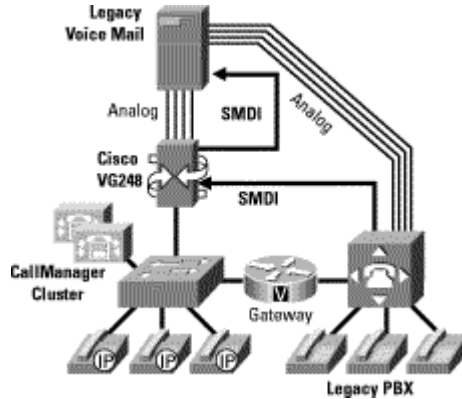
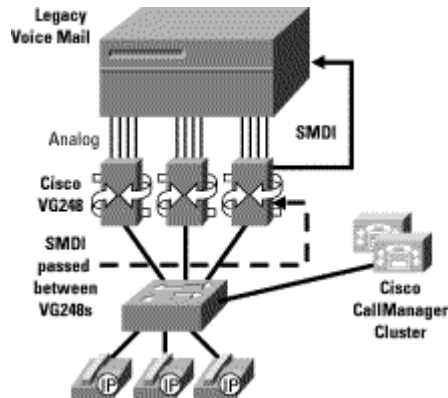


図 4 : アナログ音声メールの拡張性



サポートされるプロトコル

- Skinny Client Control Protocol (SCCP)
- Real-Time Transport Protocol (RTP)
- Trivial File Transfer Protocol (TFTP)
- File Transfer Protocol (FTP) (ファームウェアのアップグレード用)
- Hypertext Transfer Protocol (HTTP) サーバ (ステータス情報のみ)
- Simple Network Management Protocol (SNMP)
- Telnet
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)
- Domain Name System (DNS)
- Cisco CallManager 3.1



- Cisco CallManager 冗長サポート
- コール存続可能性
- 保留音楽
- コーダ/デコーダ (コーデック) サポート、G.711 または G.729a

技術仕様

電力	100-240 VAC、50-60 Hz
通話バッテリー	-35 V
呼び出し音電圧	46 V rms、14 V DC オフセット
ループ電流	21 mA
メッセージウェイ テイング電圧	93 V DC (1 秒オン、1 秒オフ)
最大回線長	"1524 m (5000 フィート) または 415 Ω (構内の み) "
REN (Ringer Equivalence Number)	3 (最大 2 オフフック)
コネクタ	RJ-21 メス型 x 2
オフフック検出	Loop Start のみ
ダイヤリング	Dual Tone Multifrequency (DTMF) のみ

発注情報

製品番号 : VG248-ASIA

製品説明 : Cisco VG248 Analog Phone Gateway



認定準拠

製品には CE マークが付いています。これは、次のような安全基準および EMC 標準を含む 89/366/EEC Directive および 73/23/EEC Directives に準拠していることを示しています。

安全準拠性	EMC 準拠性
UL 1950	FCC Part 15 (CFR 47)
CSA C22.2 No. 950	Class A
EN 60950	ICES 003 Class A
IEC 60950	CISPR22 Class A
AS/NZS 3260	AS/NZS 3548 Class A
TS 001	VCCI Class A
	EN55022 Class A
	EN 55024
	EN 50082-1
	ETS 300 386
	EN 61000-3-2
	EN 61000-3-3

物理仕様

寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	4.45 x 43.81 x 42.54 cm (1.75 x 17.25 x 16.75 インチ)
重量	6.6 kg (14 ポンド 9 オンス)

ネットワーク管理

Basic MIB II (RFC 1213)

Interface MIB (RFC 1573)

RMON (イーサネット統計グループ)

Cisco Discovery Protocol Management Information Base

(CDP MIB)

Cisco Process MIB

Cisco Memory Pool MIB

Cisco Voice Interface MIB



Cisco Analog Voice Interface MIB

Cisco EnvMon MIB

サポートされている国コード

米国

英国

フランス

ドイツ

オーストリア

スイス

イタリア

環境

動作環境	0 ~ 40° C (32 ~ 104° F)、10 ~ 95 % (結露なし)
非動作時環境	-10 ~ 60° C (14 ~ 140° F)

©2003 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受け付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先